

# 第37回海洋開発シンポジウム

## 2012年6月27日[水]–28日[木]

1. 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
  2. 後援：国土交通省北海道開発局、函館市
  3. 開催期日：2012年6月27日（水）～28日（木）
  4. 会場：函館国際ホテル  
（北海道函館市大手町5-10）JR函館駅より徒歩7分  
<http://www.hakodate-kokusai.jp/access/>
  5. 参加方法：参加無料、自由参加（事前の申込は不要です。当日会場へ直接ご来場ください。）
  6. 講演集：講演集（CD-ROM媒体）は、委員会ホームページにて事前販売および当日販売いたします。  
価格：2,000円（消費税、送料込）
  7. 発表時間：1論文15分（発表10分、討議5分）  
前日シンポジウム：「各地域における今後の津波対応および防災計画の方策」  
（1）日時：6月26日（火）16：00～17：30（90分）  
（2）場所：函館国際ホテル 2階 青柳  
（3）参加費：無料  
（4）話題提供者：柴山知也、中野 晋、松見吉晴、橋本典明、木村克俊、（座長：鈴木崇之）
  8. 懇親会：（1）日時：6月27日（水）18:10～  
（2）場所：函館国際ホテル 2階 天平  
（3）参加費・受付：7,000円、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
  9. 見学会：（1）日時：6月27日（水）第1便10：30～、第2便12：30～、第3便14：30～  
（2）コース：函館港西埠頭周辺海域  
（3）参加費・受付：無料、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。  
（4）定員：各便20名程度
- ※プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会ホームページをご覧ください。（<http://www.jsce.or.jp/committee/ocean/>）  
※本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。  
※問合せ先：土木学会事務局 研究事業課（担当：岩西）  
TEL03-3355-3559

### 1日目：2012年6月27日（水）

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00 - 9:05	開会挨拶				
9:05 - 10:25	津波被災調査	混成防波堤	水域環境と景観	波浪モデル	漂流物
10:35 - 12:10	津波と津波による浸水	耐波構造物	環境再生手法、 リモートセンシング	波の性質	干潟・浅場造成
12:10 - 13:10	昼休憩				
13:10 - 14:45	津波と構造物、がれき	構造物の強度	漂砂	高潮と副振動	底質環境（1）
14:55 - 16:15	津波流体力と避難	構造物まわりの流れと応答	海浜変形	高潮被害	底質環境（2）
16:25 - 17:50	特別セッションS-1 津波と海域施設				

### 2日目：2012年6月28日（木）

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
9:00 - 10:20	津波の伝播計算	新たな沿岸プロジェクトの 創出	海浜変形	海洋エネルギー	海岸港湾政策
10:30 - 12:05	津波による地形の変化	地盤と液状化	漂砂	海象予測モデル	沿岸の利用
12:05 - 13:05	昼休憩				
13:05 - 14:40	津波力と漂流物	地盤改良	侵食対策	気候変動と海象	沿岸生物
14:50 - 16:10	耐津波構造物	耐震	閉鎖性内湾の環境	流れ環境	藻場
16:15 - 16:25	閉会挨拶				

### 【発表者のみなさまへ】

- (1) 発表時間は、1論文15分（発表10分、討議5分）です。 ※昨年度から変更になっていますので、ご注意ください。
  - (2) 発表方法は、会場に用意されたパソコンとプロジェクトによるプレゼンテーションのみとします。（OHP等不可）
  - (3) プレゼンテーションソフトは、「Microsoft Power Point」です。 PowerPoint2002形式（\*.ppt）のファイルを用意して下さい。（PowerPoint2007形式（\*.pptx）は利用できません。）
  - (4) パソコン再生の互換性が低い動画ファイル（\*.mpg, DivX）等の使用は控えて下さい。再生されない場合があります。
  - (5) 発表前の休憩時間に、会場に設置されたパソコンに、USBメモリ（各自持参）を使って、発表用ファイルをコピーして下さい。（CD-R, MO等不可）
- 【注意事項】二日目の各会場第一セッションは、開場からセッション開始まで時間が短いので、出来るだけ一日目の休憩時間や昼食時間に発表ファイルをコピーしてください。
- (6) 各自持参のUSBメモリは、ご自身のパソコンで【ウイルスチェック】を事前に行ってください。



CPD 認定プログラム  
JSCE12-0287 13.3 単位

第1会場(函館国際ホテル「鳳凰」)

第1日目(6月27日(水))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/27(水)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長					
	9:05 ~ 10:25	津波被災調査 木村克俊 室蘭工業大学	1	大銅直之	岩手県北部周辺における東北地方太平洋沖地震による津波被害の調査報告	大銅直之 細山田将三 陸奥皎 熊倉俊郎 南将人 入江博樹
			2	鈴木崇之	2011年東北地方太平洋沖地震津波の岩手県南部における被災調査	鈴木崇之 佐々木洋 田島芳満 早野公敏
			3	酒井和也	侵食海岸を襲った2011年地震・津波による護岸の破壊-茨城県の成田・上釜海岸の例-	酒井和也 宇多高明 清水達也 熊田貴之 本橋修二 渡邊敬
			4	五十嵐竜行	流入小河川および海浜へのアクセス路からの津波侵入-九十九里浜の例-	宇多高明 五十嵐竜行 中橋正 保田英明 熊田貴之 酒井和也 清水達也
			5	宇多高明	2011年の大津波による海岸災害と被災を免れた神社	宇多高明 三波俊郎 星上幸良 酒井和也
	休憩 10分					
	10:35 ~ 12:10	津波と津波による浸水 山本吉道 東海大学	6	久木田駿一	東北地方太平洋沖地震津波における津波襲来時の映像の解析と津波の数値計算	久木田駿一 柴山知也
			7	大平幸一郎	長周期地震動による震源遠隔地での波の発生	大平幸一郎 柴山知也
			8	中村友昭	沿岸に立地する建築物が津波による浸水量に与える影響に関する研究	中村友昭 水谷法美 芦澤哲 平川信也
			9	Fady Usman	Study on Reducing Tsunami Inundation Energy by the Modification of Topography Based on Local Wisdom	Fady Usman 村上啓介
			10	Min ROH	Measurement of the flow velocity for tsunami wave propagation	Min ROH Mohammad Bagas AOTYAWAN Hitoshi TANAKA
	休憩 60分					
	13:10 ~ 14:45	津波と構造物 がれき 稲垣聡 鹿島建設(株)	11	傳亮司	津波防御施設としての胸壁天端高決定手法に関する検討	傳亮司 小竹康夫 荒木進歩
			12	竹鼻直人	フレア護岸の津波に対する水理特性シミュレーション	竹鼻直人 荻野啓 片岡保人 松岡寛和
			13	安野浩一朗	津波に対する消波ブロック安定性に関する水理模型実験	安野浩一朗 岩塚雄大 西畑剛 古牧大樹 森屋陽一 伊野岡
14			大井邦昭	津波越流に対する海岸堤防及び防波堤の強化に関する実験的研究	大井邦昭 林建二郎 河野茂樹	
15			斉藤直	石炭灰造粒物による津波堆積への再資源化	斉藤直 宮藤幸介 榎野和俊 平岡順次 日比野忠史	
16			林友弥	東北地方太平洋沖地震津波で発生したガレキの港湾における処分可能性	鈴木武 林友弥 菅野善活	
休憩 10分						
14:55 ~ 16:15	津波流体力と避難 中野晋 徳島大学	17	林建二郎	海岸林に作用する流体力と抵抗則評価	林建二郎 浅野敏之 多田 毅 寺本行芳	
		18	稲垣賢人	東北地方大津波によって引き流された松の木の分布特性(山台市内)	稲垣賢人 仲産栄三 入部綱清 渡邊康志	
		19	坂井良輔	海岸林樹木の幹や枝に作用する津波流体力の解析	浅野敏之 松元千加子 國生大樹 坂井良輔	
		20	杉本晃洋	避難意思決定に及ぼす東日本大震災の影響	杉本晃洋 石垣泰輔 武藤裕則 馬場康之 島田広昭	
		21	神谷大介	近地と遠地の津波警報発表時における住民の避難行動に関する分析	神谷大介 當間優樹 赤松良久 富山潤	
休憩 10分						
16:25 ~ 17:50	特別セッション S-1 津波と海域施設 オオタケイ 下道健一郎(港湾空港技術研究所) ユフ(オオタケイ) 本村良徳(室蘭工業大学) 玉明美智勇(千葉工業大学)	S-1	根木貴	港湾における津波被害と粘り強い構造物に関する一考察	根木貴	
		S-2	丸山草平	防波堤内側マウンド被覆材の津波に対する安定性に関する実験	丸山草平 松本朗 半沢稔	
		S-3	有光剛	陸上構造物前面の浸水深を用いた津波波圧算定式の提案	有光剛 大江一也 川崎浩司	

第1会場(函館国際ホテル「鳳凰」)

第2日目(6月28日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/28(木)	9:00 ~ 10:20	津波の伝播計算 小竹康夫 東洋建設(株)	22	鈴木一輝	東海・東南海・南海三連動型巨大地震に伴う津波伝播特性に関する数値的研究	川崎浩司 鈴木一輝
			23	川崎浩司	東海・東南海・南海三連動型巨大地震による津波浸水予測に関する研究	川崎浩司 鈴木一輝 高須吉敬
			24	溝端祐哉	和歌山県における想定を上回る津波に対する浸水危険度の変化に関する研究	安田誠宏 溝端祐哉 奥村与志弘 間瀬肇 森信人 島田広昭
			25	岩前伸幸	鏡子沖における東北地方太平洋沖地震津波 -再現数値実験とその特徴-	岩前伸幸 福山貴子 秋山義信 池谷毅 福本幸成
			26	稲垣聡	断層領域の運動を考慮した津波解析とその課題	稲垣聡 池谷毅 武村雅之
	休憩 10分					
	10:30 ~ 12:05	津波による地形の変化 辻本剛三 神戸市立工業高等専門学校	27	加藤史訓	津波による地形変化に関する現地調査	加藤史訓 野口賢二 諏訪義雄 坂上敬彦 佐藤祥昭
			28	秋元和實	音響解析による気仙沼湾における津波襲来後の海中環境と堆積物分布特性の把握	秋元和實 滝川清 矢北孝一 外村隆臣 滝野義幸
			29	神山享一	福島県松川川の東日本大震災津波前後での底質・地形変化	日高正康 潘井邦浩 神山享一 藤崎和哉 西隆一郎 山下善 林健太郎
			30	星上幸良	2011年大津波による福島県岩間佐藤海岸における砂州の大変形と津波被害	宇多高明 星上幸良 野志保仁 酒井和也
			31	Julianti Manu	津波による第1砂丘および海岸保全構造物背後の洗掘地形について	西隆一郎 Julianti Manu Tommy Jansen 林健太郎
			32	黒澤祐司	東北地方太平洋沖地震による海食崖の崩壊とその後の変形	小林昭男 宇多高明 黒澤祐司 遠藤利利 遠藤威
	休憩 60分					
	13:05 ~ 14:40	津波力と漂流物 秋山義信 鹿島建設(株)	33	澁谷陽	平野部に遡上した津波による漂流物の衝突力	澁谷陽 相原昭洋 新井信一 高橋俊彦
			34	青山功治	遡上津波と胸壁からの反射によるコンテナの漂流特性と海上への流出対策工の有効性に関する研究	中村友昭 青山功治 水谷法美
			35	馬越一也	津波襲来時における大型漂流物の長大構造物シミュレーション	馬越一也 葛漢彬 野中哲也 原田隆典 村上啓介
36			森本陽介	津波による橋梁への作用津波力と桁移動に関する数値解析	中村友昭 Xingyue Ren 森本陽介 水谷法美	
37			青木悟	ビルに作用する津波力とそれに及ぼす空間形状の影響に関する研究	李光浩 青木悟 水谷法美 芦澤哲 平川信也	
休憩 10分						
14:50 ~ 16:10	耐津波構造物 織田幸伸 大成建設(株)	38	木村雄一郎	フラップゲート式可動防波堤の実海域試験	木村雄一郎 近本武 吉田宏志 下道健一郎 清宮理	
		39	山川善人	建屋外壁に設置された浮体式フラップゲート防水層の段落応答特性に関する実験的研究	木村雄一郎 山川善人 川端樹生 水谷法美 平石哲也 間瀬肇	
		40	長谷川巖	一般防波堤の津波越流による港内側マウンドの洗掘と対策	佐藤正勝 米山治男 長谷川巖 稲垣茂樹	
		41	山先達也	リアス式湾における津波防波堤の効果的な配置法に関する研究	中村幸幸 山先達也 Nyein Zin Latt	
		42	小竹康夫	天端を越流する津波が混成堤式防波堤のケーソン部に与える波圧特性に関する実験的研究	小竹康夫 荒木進歩 松村章子	

第2会場(函館国際ホテル「白風」)

第1日目(6月27日(水))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																
6/27(水)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長																					
	9:05 ~ 10:25	混成防波堤 高木泰士 東京工業大学	43	西尾賢二	消波ブロック被覆上部斜面堤の滑動特性に関する実験的研究	内田吉文	小椋進	鬼頭孝明	西尾賢二	森川高徳	近藤泰徳											
			44	辻尾大樹	地球温暖化による沿岸外力変化を考慮した消波ブロック被覆堤の滑動量解析	辻尾大樹	瀧瀬肇	森信人	安田誠宏													
			45	西畑剛	SPH法における消波ブロック被覆堤の簡易モデルの提案	吉牧大樹	西畑剛	森屋陽一														
			46	橋本淳	水理模型実験結果によるケーソン式混成堤の変形量簡易推定手法に関する研究	橋本淳	長尾毅															
			47	熊谷健蔵	ライフサイクルコストの観点による混成堤の目標耐力作用比に関する基礎的検討	長尾毅	辻尾大樹	熊谷健蔵	石河雅典													
	休憩 10分																					
	10:35 ~ 12:10	耐波構造物 久保田真一 (株)不動テトラ	48	山城賢	画像解析を用いた水理模型実験における越波量計測	山城賢	村上邦宏	吉田明徳														
			49	大東秀光	越波排水路を有する低天端護岸の越波特性に関する検討	大東秀光	大江一也															
			50	辻本剛三	連結ブロックを用いた瀬上波の低減とその水理特性に関する研究	辻本剛三	濱森彩	柿木哲哉	宇野宏司													
			51	松下敏實	新型消波ブロックの傾斜堤における安定性に関する実験的研究	松下敏實	Thieu Quang Tuan	Nguyen Quang Luong	Le Tuan Hai	滝泰臣												
			52	原田恵	幅広滑堤における波高低減機能の向上と平均水位上昇の抑制を目的とした新型ブロックに関する基礎的検討	山城賢	原田恵	吉田明徳	児玉充由	有馬昭昭	児島和之	入江功										
	53	平山隆幸	傾斜被覆堤の複合被災に伴う越波量変化に関する評価システムの開発	平山隆幸	藤本啓伸	松見吉晴	太田隆夫	大野賢一														
	休憩 60分																					
	13:10 ~ 14:45	構造物の強度 宮川昌宏 清水建設(株)	54	松林卓	既設防波堤ケーソンの耐衝撃補強工法の開発	松林卓	森田浩史	岩波光保	安井利彰	水谷征治	川端雄一郎											
			55	富安良一	デタッチドピア形式を利用した耐震補強に関する数値解析的検討	富安良一	高橋英紀	西川文博	森京介	天野俊												
			56	宮下健一朗	残橋の照査用断面設定法の精度向上に関する研究	宮下健一朗	長尾毅															
57			土田孝	浚渫土を用いたセメント固化処理土の若齢期の強度発現に関する研究	土田孝	嶋川奈津美																
58			古谷宏一	無筋コンクリート海岸構造物のひび割れ幅に基づく新しい劣化度判定基準の提案	古谷宏一	横田弘	橋本勝文															
59	塩崎禎郎	高強度鋼管柱(引張強度570N/mm <sup>2</sup> 級)の港湾構造への適用に向けた検討	塩崎禎郎	宇佐美俊輔	大久保浩弥																	
休憩 10分																						
14:55 ~ 16:15	構造物まわりの流れと応答 松見吉晴 鳥取大学	60	白石悟	実測値に基づく洋上係留ブイの鉛直方向波浪応答特性の評価	白石悟	永井紀彦	川口浩二															
		61	川村善郎	鉛直混合促進型浮体の開発に関する研究	中村孝幸	川村善郎	山根広己															
		62	木田英之	波流れ共存場における湧昇流生成構造物に作用する流体力について	木田英之	出口一郎	中村孝幸	井内國光	境大輔	古木宏												
		63	古牧大樹	グラブ浚渫に伴う流れの予測手法に関する研究	古牧大樹	金山進																
		64	平野辰昇	鉛直管を用いた土砂投入に伴う濁水塊の流動特性に関するパラメトリック解析	平野辰昇	豊松孝昌	金澤剛															

第2会場(函館国際ホテル「白風」)

第2日目(6月28日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																
6/28(木)	9:00 ~ 10:20	新たな沿岸プロジェクトの創出 関本恒浩 五洋建設(株)	65	山田吉彦	地方公共団体による地域海洋基本計画策定に関する調査研究	山田吉彦	川上哲太郎	川崎一平														
			66	藤田健志	人工島建設プロジェクトの事例分析と評価	榎正浩	藤田健志	鳥谷学	石原慎太郎	鈴木高二郎	佐々木淳	関本恒浩										
			67	石原慎太郎	機能と地域性に着目した人工島建設プロジェクトの提案	鳥谷学	石原慎太郎	榎正浩	藤田健志	鈴木高二郎	佐々木淳	関本恒浩										
			68	木村光俊	閉鎖性海域における既往の環境改善プロジェクトの評価	伊藤義将	木村光俊	玉上和範	足立吉宏	吉原到	鈴木高二郎	佐々木淳	関本恒浩									
			69	吉原到	閉鎖性海域における実現性と有効性を踏まえた環境改善プロジェクトの提案	足立吉宏	吉原到	玉上和範	伊藤義将	木村光俊	鈴木高二郎	佐々木淳	関本恒浩									
	休憩 10分																					
	10:30 ~ 12:05	地盤と液状化 土田孝 広島大学	70	竹花和浩	浮き型格子状固化処理工法の液状化地盤への適用性に関する実験的検討	高橋英紀	森川嘉之	津園正一	福武毅芳	鈴木亘	竹花和浩											
			71	大久保隆介	直杭式横杭橋の異なる照査手法による残橋応答の比較	大久保隆介	小濱英司	楠謙吾														
			72	藤井照久	海上空港における液状化対策としての静的圧入締め工法の数値解析手法	高橋英紀	大橋照美	藤井照久	金子智之	水野匠												
			73	丸山憲治	液状化対策のための浮き型格子状固化処理工法の岸壁への適用性に関する検討	高橋英紀	森川嘉之	吉田誠	川崎廣貴	田口博文	丸山憲治											
			74	柴原直範	液状化の影響を考慮した傾斜式護岸の簡易耐震照査手法に関する研究	長尾毅	柴原直範															
	75	小林薫	水産系副産物(貝殻)を用いた砂混入防止型キャピラリーリア地盤に関する検討	中房悟	小林薫	森井俊広	松元和伸															
	休憩 60分																					
	13:05 ~ 14:40	地盤改良 佐々木志 (独)港湾空港技術研究所	76	平井俊之	岸壁の残留変形量に関する地震動のばらつきの影響の簡易評価	平井俊之	長尾毅															
			77	山崎智弘	サンドマッシュを用いた廃棄物護岸の連心力模型実験とFEM解析	山崎智弘	澤田豊	鶴ヶ崎和博	磯貝悠美子	吉市謙次	野々村千里	山田幸一	片岡雅貴									
			78	海野寿康	遠心載荷模型実験を用いた過剰間隙水圧消散工法による液状化対策の効果検証	海野寿康	林健太郎	浅田英幸	居場博之													
			79	田中裕一	カルシア改質土を用いた海面埋立と地盤の評価	田中裕一	山田耕一	大久保泰宏	渋谷貴志	中川雅夫	赤司有三	一村政弘	山越謙介									
80			増田龍哉	ペーパーラジ灰造結物の現地適用性に関する検討	増田龍哉	久保田健	志村吉彦	寺澤一雄	小野裕司	福岡大造	五十嵐学	滝川清										
81	新倉博	新海面処分場の延命化対策-真空圧密工法による減容化効果-	直井恒雄	渡部要一	新倉博	日高征俊	白神新一郎															
休憩 10分																						
14:50 ~ 16:10	耐震 片山裕之 五洋建設(株)	82	久保田謙作	親不知海岸高架橋の波浪対策消波護岸の磨耗現地調査とその対策法	久保田謙作																	
		83	西田孝弘	点検診断結果に基づく海岸保全施設の劣化進展過程の評価に関する2, 3の考察	岩波光保	西田孝弘	加藤絵乃	川端雄一郎														
		84	菅付敏一	コンクリートブロック多段積み構造の耐震性向上対策に関する基礎的研究	菅付敏一	水田洋司	藤田浩一	伊井洋和	佐々木公彦	高橋洋一												
		85	足立一美	管理型廃棄物海面処分場埋立護岸-運水工のレベル2地震に対する耐震性能評価	足立一美																	
		86	曾根照人	防波堤のチャート式耐震診断手法に関する基礎的研究	曾根照人	柴原直範	山本修司	水谷雅裕	近藤武司	森本徹	井合進	一井康二										

第3会場(函館国際ホテル「末広」)

第1日目(6月27日(水))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																
6/27(水)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長																					
	9:05 ~ 10:25	水域環境と景観 多田彰秀 長崎大学	87	宮里聡一	対馬沿岸における海洋保護区の設定手法の基礎的検討	宮里聡一	清野聡子	田井明	波田安徳	細井耐佐義												
			88	瀬戸口善祥	佐賀県における海岸漂着物対策地域計画の策定のための重点推進区域の選定	北島剛	堀部耕二	瀬戸口善祥	佐々木崇雄	高木利光												
			89	袖山和志	消波ブロックの形状特性と景観(調和感)に関する多角的評価項目の検討	袖山和志	櫻木義己	萩原照通	柴田あずさ													
			90	岡田昌彰	堺泉北臨海工業地帯における夜景の評価に関する研究	岡田昌彰	福部大輔															
			91	川上佐知	ミチゲーションにより造成した干潟の20年にわたる順応的管理の実践	川上佐知	菅野孝則	田中英治	中元雄二	林貴行	高瀬繁盛											
	休憩 10分																					
	10:35 ~ 12:10	環境再生手法「リモートセンシング」 佐々木淳 横浜国立大学	92	宮田康人	広島県因島に造成した製鋼スラグ埋め立ての生物着生特性の長期評価	宮田康人	松永久宏	藪田和哉	林明夫	山本民次												
			93	亀山剛史	有害金属吸着機能を有する新規多孔質コンクリートの開発	亀山剛史	松山哲也	安岡かおり	掛川寿夫	永末慶寛												
			94	足立吉宏	ケーソン背面における貝殻施設の実験について~細島港ケーソン仮置き場の場合~	足立吉宏	吉橋伸輔	中野公聖	中村蒼之	片山貴之												
			95	作野裕司	静止海色衛星GOCIによる内湾のクロロフィルプロダクト精度評価	作野裕司																
			96	矢北孝一	底泥表色系による海域底泥表層の硫化物濃度の推定に関する研究	矢北孝一	滝川清	秋元和實	増田龍哉	森本剣太郎	森敬介	島崎英行										
	休憩 60分																					
	13:10 ~ 14:45	漂砂 小林昭男 日本大学	97	中下慎也	波、流れを受ける石炭灰造軌物基礎の安定性に関する研究	中下慎也	河内友一	吉岡一郎	日比野忠史													
			98	松山正之	北部加越海岸における海浜変動の沿岸方向変化に関する基礎的研究	松山正之	由比政年	石田啓														
			99	澁谷容子	波浪条件および粒径特性が土砂の移動に及ぼす影響とその効果に関する実験的研究	澁谷容子	松原雄平	黒岩正光	八尾規子													
			100	祭田佳奈江	岸沖漂砂の卓越する海岸における岸沖・沿岸漂砂統合モデル開発	祭田佳奈江	鷺田正樹															
			101	山田隆史	波浪変化および移流拡散による土砂投入を考慮した等深線変化モデル	澁谷容子	松原雄平	黒岩正光	山田隆史													
	休憩 10分																					
	14:55 ~ 16:15	海浜変形 東江隆夫 大成建設(株)	102	芹沢真澄	BGモデルによる細長い湖の湖分過程の数値計算	芹沢真澄	宇多高明	宮原志帆														
103			石川仁憲	神奈川県湘原海岸の海浜変形予測	宇多高明	細川順一	中西勇人	吉池綱	石川仁憲													
104			黒崎弘司	ネットワークカメラを活用した海浜観測システムの構築と石川県輪崎海岸におけるカスプ地形解析への適用	黒崎弘司	由比政年	石田啓															
105			清水達也	九十九里浜北部(飯岡漁港~片貝漁港)の長期的地形変化	清水達也	宇多高明	熊田貴之	中橋正	保田英明													
106			渡邊徹	大洗港の南北海岸の長期的変遷~2011年大津波の影響も含む~	宇多高明	熊田貴之	清水達也	渡邊徹														

第3会場(函館国際ホテル「末広」)

第2日目(6月28日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名																
6/28(木)	9:00 ~ 10:20	海浜変形 加藤史朗 国土交通省国土技術政策総合研究所	107	大貫崇	太平洋に流入する中小河川の河口砂州の季節変動の観測	大貫崇	小林昭男	宇多高明	芹沢真澄	遠藤将利	野志保仁											
			108	玉井昌宏	砂浜の色彩の相対比較と近隣河川の流域地質との関係	玉井昌宏	辻本剛三															
			109	柴崎誠	宮崎海岸(赤江浜)の海浜変形と侵食の実態	宇多高明	清野聡子	三波俊郎	高瀬和博	柴崎誠	酒井和也											
			110	菊池泉弥	茨城県阿字ヶ浦海岸の海浜変形の実態	宇多高明	野志保仁	熊田貴之	酒井和也	本橋修二	菊池泉弥											
			111	小澤弘樹	伊豆大島開伏海岸の海浜変形機構	宇多高明	小澤弘樹	星上幸良	野志保仁	清水達也												
	休憩 10分																					
	10:30 ~ 12:05	漂砂 田島芳満 東京大学	112	細川順一	神奈川県初声海岸の海浜変形機構と対策検討	宇多高明	細川順一	中西史一	宮原志帆	芹沢真澄	石川仁憲											
			113	大木康弘	BGモデルによる大津波津治地への堆砂対策検討	宇多高明	大木康弘	宮原志帆	芹沢真澄	三波俊郎	住田哲幸											
			114	戸巻昭三	石狩湾新港の港内漂砂流入防止に関する考察	戸巻昭三	佐藤寿彦	竹沢三雄	後藤浩													
			115	大谷優衣	長期の深浅測量結果に基づく開門航路の水深経年変化に関する検討	横田雅紀	大谷優衣	山城賢	横本典明	春日井康夫	木田一光	井芹絵里奈										
			116	WIDYANINGTIAS	Investigation on depth of closure influenced by wave reflection from coastal structures	WIDYANINGTIAS	Hiroshi TANAKA															
休憩 60分																						
13:05 ~ 14:40	侵食対策 鈴木崇之 横浜国立大学	117	関口陽高	サンドバック工法の設計時の耐侵食性能決定方法の検討	関口陽高	諏訪義雄	野口賢二	渡辺国広	伊藤幸哉	岩佐隆広												
		118	渡辺国広	サンドバックで構築された海岸保全施設の変状連環に関する海外事例調査及び水理模型実験	渡辺国広	宇井正之	二階堂竜司	細谷州次郎	高田保彦	諏訪義雄	野口賢二	関口陽高										
		119	引山誠	琵琶湖近江白浜における突堤と養浜による侵食対策の効果検証	宇多高明	引山誠	小澤宏樹	星上幸良	清水達也	野志保仁												
		120	宮原志帆	海岸線急変部に設置された突堤と離岸堤の漂砂制御効果の比較	芹沢真澄	宇多高明	宮原志帆															
		121	山野貴司	海底勾配の違いによる低天端有脚式離岸堤の洗掘特性と対策工の効果に関する実験的研究	山野貴司	藤原隆一	野村浩二															
休憩 10分																						
14:50 ~ 16:10	閉鎖性内湾の環境 武田将英 東亜建設工業(株)	122	米倉理里子	博多湾の海岸線改変による潮汐・潮流と底質輸送への影響について	田井明	齋田倫範	米倉理里子	扇塚修平	清野聡子													
		123	熊井教寿	環境整備船「海輝」調査による有明・八代海海域環境特性の把握	熊井教寿	大谷智正	滝川清	松下訓	川岸寛													
		124	大塚文和	東京湾を対象にした福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の流入量の推定	大塚文和	廣貴人	川西利昌	増田光一														
		125	早川博	風と塩水遡上の関連性に関する統計解析	早川博	加藤洋子	中山恵介	茶田徳彦	中内勲	石田哲也												
		126	齋藤孝	八代海における有害赤潮藻Chattonella antiqua増殖に関する水質環境要因の正準対応分析	齋藤孝	滝川清	園田吉弘	高日新也														

第4会場(函館国際ホテル「青柳」)

第1日目(6月27日(水))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名						
6/27(水)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長											
	9:05 ~ 10:25	波浪モデル 柴木秀之 (株)エコー	127	李佑東	密度差のある波と流れの相互作用による波の変形特性に関する研究	李佑東	水谷法美	許東秀				
			128	平山克也	ブシネスモデルを用いた海岸護岸における護岸越波量の推定	平山克也	森内政弘	伍井稔	加地智彦	玉田崇		
			129	加島寛章	排水孔付き既設護岸背後の長周期うねりによる越波浸水・排水過程の数値計算	加島寛章	平山克也					
			130	田島芳満	非線形分散波方程式における異なる砕波減衰モデルによる流れ場の推定特性	田島芳満	Siddique Mohsin					
			131	金山進	多層波動方程式における減衰定常波モードについて	金山進						
	休憩 10分											
	10:35 ~ 12:10	波の性質 平山克也 (独)港湾空港技術研究所	132	泉宮尊司	非線形波浪の水位および水面勾配の結合確率分布特性に関する研究	山下正輝	泉宮尊司					
			133	仲井圭二	全国沿岸における長周期波の周波数別季節変動特性	仲井圭二	橋本典明					
			134	田中真史	浸水型長周期波対策工の消波特性に関する実験的検討	田中真史	松本朗	半沢稔				
			135	関本恒浩	リーフ上における不規則波の変形と波高出現分布特性に関する実験的研究	関本恒浩	中嶋さやか					
			136	中嶋さやか	急勾配を有するリーフ地形におけるwave set-upと波の変形に関する実験的研究	関本恒浩	中嶋さやか					
	137	福田直也	3次元直接数値解析による透過性人工リーフ周辺のエネルギー輸送特性に関する研究	李光浩	福田直也	水谷法美						
	休憩 60分											
	13:10 ~ 14:45	高潮と副振動 河合弘泰 (独)港湾空港技術研究所	138	池田奈保子	副振動に関連した東シナ海上での微気圧変動のPIV解析	萩平裕樹	池田奈保子	山城徹	城本一義			
			139	深尾宏矩	大気-海洋-波浪結合モデルに基づく現在気候下の最大級台風による三河湾での高潮と高波の解明	村上智一	深尾宏矩	吉野純	安田孝志			
			140	大橋峻	地球温暖化に伴う最大級台風による東京湾周辺の高潮・高波リスク解析	川崎浩司	大橋峻	鈴木一輝	村上智一	下川信也	安田孝志	
			141	木梨行宏	高潮推定における非構造格子モデルの適用性に関する基礎的検討	木梨行宏	山城賢	姫野慎太郎	中野俊夫	横田雅紀	橋本典明	
142			塩崎信一	ニューラルネットワークによる山陰沿岸におけるリアルタイム高潮予測	塩崎信一	金洙洙	松見吉晴	太田隆夫				
休憩 10分												
14:55 ~ 16:15	高潮被害 吉田明徳 九州大学	143	鈴木武	地球温暖化影響を考慮した高潮浸水被害リスクマップと沿岸浸水被害関数の作成	鈴木武							
		144	越智聖志	国道238号環状海岸道路における路肩部の高波被害とその復旧	越智聖志	木村克俊	宮武誠	上久保勝美				
		145	五百蔵政文	海岸堤防・護岸の高波による被害予測の研究	山本吉道	五百蔵政文	比嘉了規					
		146	高木泰士	ベトナム南部の沿岸域における災害脆弱性の検証	高木泰士	Nguyen Danh Thao	Miguel Esteban	Tran Thu Tam	Hanne Louise Kraepen	三上貴仁		
		147	高島知行	東京港における高潮・津波の危険予測	高島知行	柴山知也						

第4会場(函館国際ホテル「青柳」)

第2日目(6月28日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名							
6/28(木)	9:00 ~ 10:20	海洋エネルギー 豊松孝昌 大阪市立大学	148	田中翔一	数値波動水槽CADMAS-SURFの拡張による波力発電装置の空気流解析	田中翔一	武若聡	野戸秀晶					
			149	永井紀彦	GPS波浪計によって観測された洋上風の乱れ強度	永井紀彦	川口浩二	吉村豊	鷺尾朝昭	谷川亮一	青木功		
			150	榎田真也	浮体式波エネルギー吸収装置による圧縮空気生産に関する実験的研究	榎田真也	大員秀司	石田啓					
			151	阿部翔太	自律駆動型水素吸蔵合金アクチュエータを用いた海水交換装置の現地適用に関する検討	宮武誠	阿部翔太	吉江祐人					
			152	藤田勇	洋上風力発電に向けての風杯式風速計の特性と補償	藤田勇	松崎義孝	永井紀彦					
	休憩 10分												
	10:30 ~ 12:05	海象予測モデル 小田徳子 千葉工業大学	153	前川雅俊	現地観測データに基づく気流界面における熱輸送機構に関する研究	前川雅俊	豊松孝昌	遠藤徹					
			154	日野幹雄	SDP風資料に基づく東京湾・伊勢湾・瀬戸内海の沿岸風・海上風・波高資料の精度評価	山口正隆	畑田佳男	野中浩一	日野幹雄				
			155	山口正隆	SDP風資料を用いた波浪推算モデルの東京湾・伊勢湾における適用性と波高極値の推定	山口正隆	畑田佳男	野中浩一					
			156	松浦邦明	高精度気象海象情報の開発と海上物流動化への利用	松浦邦明	佐藤淑子	三嶋宣明	小林充	加納敬幸	大津皓平	庄司可り	高嶋恭子
			157	横田華奈子	気象・海象予測を用いた工船船舶運航シミュレーション技術の開発	横田華奈子	伊藤一教	織田伸幸					
	158	琴浦毅	瀬戸内海における波浪推算モデルを用いた海上作業可否の判定精度	琴浦毅	森屋隆一	関本恒浩							
	休憩 60分												
	13:05 ~ 14:40	気候変動と海象 安田誠宏 京都大学	159	関克己	日本沿岸の海域・季節別の波浪統計量と気候変動指標の相関解析	関克己	河合弘泰	川口浩二	猪股勉				
			160	嶋田陽一	北太平洋における有義波高の中長期変動と気候変動指標の関係	嶋田陽一	高橋桂子	塩谷茂明					
			161	宇都宮好博	波浪推算データベースの再構築及び活用について	宇都宮好博	松藤純理子	富田雄一郎	松浦邦明	窪田和彦	内田洋平	相中健吾	三嶋宣明
			162	畑田佳男	瀬戸内海における1918~2005年の巨大台風時最大波高の空間分布の特性	畑田佳男	山口正隆	野中浩一					
			163	山根知洋	気候変動予測値に基づく九州沿岸における災害外力の変動特性に関する検討	横田雅紀	橋本典明	山根知洋	児玉充由				
164	河合弘泰	海岸保全施設の長寿命化の検討に用いる将来の潮位・波浪条件に関する考察	河合弘泰	森屋隆一	水谷法美	横田弘							
休憩 10分													
14:50 ~ 16:10	流れ環境 川崎浩司 名古屋大学	165	鈴木靖	河川海洋結合モデルによる伊勢湾の河川流出水の影響について	鈴木靖	佐藤嘉展	道広有理	Sergey Varlamov					
		166	岡田輝久	4次元変分法を用いた水温・塩分定点観測データの同化法に関する検討	入江政安	辻陽平	岡田輝久	西田修三					
		167	吉江祐人	東京湾を対象としたPartial Cellの適用性の検討	丸谷靖幸	吉江祐人	中山恵介	新谷哲也	木下直貴	駒井克昭	小塚一毅	加藤淳子	
		168	中村倫明	CO2初期希釈過程を考慮した沿岸放出方式によるCO2拡散予測および海洋生物への影響評価	中村倫明	和田明	落合実						
		169	白木喜章	潮流が弱い海域における副振動を考慮した物質の拡散予測	佐藤徹	萩原博美	北澤健二	白木喜章	柴木秀之				
16:15~16:25 第一会場 閉会挨拶 幹事長													

第5会場(函館国際ホテル「春陽」)

第1日目(6月27日(水))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/27(水)	9:00~9:05 第一会場 開会挨拶 委員長					
	9:05 ~ 10:25	漂流物 大塚夏彦 北日本港湾コンサルタント(株)	170	石橋邦彦	風、波と流れによる漂流物の抗力係数および漂流予測に関する研究	土門明 泉宮尊司 石橋邦彦
			171	森谷拓実	海洋短波レーダー観測結果を用いた東京湾における漂流ゴミの輸送経路・流入期間の推定	森谷拓実 村上和男
			172	加藤一行	水荷重推定式の実機計測データを用いた評価 一大型水海構造物を対象とした一	加藤一行
			173	木岡恒治	海水の摩擦による鋼構造物の損耗特性に関する基礎的研究	木岡恒治 遠藤強 竹内貴弘
			174	竹内貴弘	水の圧縮破壊時に発生する比較的高い圧力領域の特性について	竹内貴弘 木岡恒治
	休憩 10分					
	10:35 ~ 12:10	干潟・浅場造成 宇野宏司 神戸市立工業高等専門学校	175	根笹裕太	人工浅場の地形変化特性と浅場内部の間隙水圧変動に関する実験的研究	中村友昭 根笹裕太 水谷法美
			176	樋野和俊	石灰灰造粒物によるアサリ育成基盤の創造	樋野和俊 齊藤直 宮岡幸介 柳楽俊之 吉岡一郎
			177	熊谷隆宏	スラリー粘土圧入による人工干潟修復方法に関する研究	菊原紀子 熊谷隆宏 土田孝 杉原広晃
			178	上野一彦	浚渫粘性土による人工干潟の造成方法及び圧密沈下挙動に関する研究	上野一彦 菊原紀子 山田耕一 渡部要一
			179	川崎大輔	浚渫粘性土の地盤内圧入による人工干潟造成に関する研究	川崎大輔 土田孝 森宏美
	休憩 60分					
	13:10 ~ 14:45	底質環境(1) 入江政安 大阪大学	180	東和之	人工干潟と自然干潟におけるマクロベントス相の比較	東和之 大田直友 河井崇 山本龍兵 丸岡篤史 橋本温 上月康則
			181	長塚雄介	塩分濃度計を用いた Swash Zone 下浸透流の輸送拡散過程の計測	猿渡亜由未 長塚雄介
182			中西宏彰	自然砂浜での底質移動や地形変化に及ぼす海浜植物の影響	宇野宏司 中西宏彰 辻本剛三 柿木哲哉	
183			菊原紀子	貝殻混じりセメント固化体の諸特性と薬種への実用化に関する検討	菊原紀子 上野一彦 小笠原哲也 山田耕一 阿波稔 藤田大介	
184			中西敬	貧栄養状態での栄養供給手法としての海底耕転の効果に関する調査研究	中西敬 高瀬博文 中谷明泰 今井一郎	
185	赤松良久	2010年奄美大島豪雨がマングローブ・サンゴ生態系に与えた影響	赤松良久 宮良工 神谷大介 竹林洋史 二瓶素雄 興克樹 竹村紫苑 高村紀彰			
休憩 10分						
14:55 ~ 16:15	底質環境(2) 村上和男 東京都立大学	186	日高正康	鹿児島湾内海底底層堆積物の特性	日高正康 東政能 内山正樹 福田隆二 西隆一郎	
		187	村上智一	西表島網取湾の造礁サンゴの分布とその物理環境の関係	村上智一 輪岡亮行 河野裕美 水谷晃 下川信也 中瀬浩太 野口幸太 安田孝志	
		188	徳永貴久	有明海湾奥西部海域における底質変動特性	徳永貴久 岡村和磨 木元克則 柴原芳一	
		189	玉井和久	石灰灰造粒物の海底被覆による底層環境の改善効果の持続性	玉井和久 西野博史 出路康夫 日比野忠史 首藤啓 西土井誠	
		190	濱田泰広	スラムが発生する内港での底質環境の改善法の設計と施工	濱田泰広 田辺弘雄 清水直樹 吉岡一郎 三戸勇吾 齋藤直 日比野忠史	

第5会場(函館国際ホテル「春陽」)

第2日目(6月28日(木))

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/28(木)	9:00 ~ 10:20	海岸港湾政策 柴山知也 早稲田大学	191	清野聡子	海岸管理者技術教育プログラムの企画と実施-国土交通大学における海岸科研修の例	清野聡子 宇多高明 伊藤良弘 南雲吉久 秋山桂 五十嵐崇博 酒井和也
			192	中島謙二郎	別府港海岸(北浜地区1)の里浜づくり-地域住民が参加した海岸保全施設整備事業-	梅崎康浩 中島謙二郎 小島治幸 齋藤潮 上島顕司 白井博己 石本健治 安藤義宗
			193	瀬間基広	完成自動車輸送の動向及び自動車専用船の船型分析	瀬間基広 赤倉康寛
			194	安藤和也	AISデータを利用した世界主要コンテナターミナルのバース・ウィンドウ作成による稼働率分析	赤倉康寛 安藤和也
			195	井山繁	犠牲者モデルを用いた国際海上コンテナ貨物流動分析モデルの構築	井山繁 渡部富博 後藤修一
	休憩 10分					
	10:30 ~ 12:05	沿岸の利用 鈴木高二郎 (独)港湾空港技術研究所	196	柳馨竹	沿岸航海の安全のための航海シミュレーションにおける気象・海象に関する航海情報の提示の研究	柳馨竹 塩谷茂明 牧野秀成
			197	塩谷茂明	沿岸航海の安全支援のためのカーナビの利用と航海情報に関する研究	塩谷茂明 牧野秀成 柳馨竹
			198	牧野秀成	全周開カマラを用いた航海の安全支援のための視覚的情報提供に関する研究	牧野秀成 塩谷茂明 木村法由 浅野一郎
			199	池本藍	洋上気象・海象予測情報のインタラクティブ表示システムの開発	間瀬肇 安田誠宏 池本藍 Tracy H. Tom 森信人
			200	野志保仁	一宮海岸が良好なサーフスポットとして成立している理由	野志保仁 宇多高明 清水達也 熊田貴之 富澤和雄 川瀬栄 下木豪
	201	小嶋博明	仙台新港におけるサーファーの利用動向及び海岸環境に関する調査	小嶋博明 高橋敏彦 新井信一		
	休憩 60分					
	13:05 ~ 14:40	沿岸生物 中村宏 東京海洋大学	202	宮川昌志	岩礁性魚類幼魚放流用シエーターの開発	宮川昌志 亀山剛史 藤原宗弘 安岡かおり 松内勇貴 末永慶寛
			203	中桐栄	HEPを応用して構築した予測モデルによるマダヒの漁場環境評価	市瀬友啓 中桐栄 島田広昭 古林将
204			渡辺雅子	希少種ルイスハンミョウを対象とした海浜ミネーションと官学民協働による維持管理の重要性	渡辺雅子 大塚弘之 上月康則 大田直友 河井崇 萬宮竜典 岡田直也 中野晋	
205			大車田一美	砂質性海岸でのアカウミガメの上陸数変動に関する基礎的研究	西隆一郎 大車田一美 相良拓也 Arther Thumbar 細谷和範	
206			森本剣太郎	八代海における塩生植物の生育環境特性に関する基礎的研究	森本剣太郎 橋本なつみ 増田龍哉 滝川清	
207	上村了美	秋田港生物共生型護岸における生物生態状況	上村了美 吉田潤 岡田知也 古川恵太			
休憩 10分						
14:50 ~ 16:10	薬場 中瀬浩太 五洋建設(株)	208	小森裕典	離岸堤周辺におけるアマモ種子の輸送・滞留機構に関する研究	小森裕典 藤原宗弘 松内勇貴 宮川昌志 末永慶寛	
		209	越川義功	ヘドロが堆積した港湾における石灰灰造粒物を使ったアマモ生育基盤	越川義功 日比野忠史 吉岡一郎 出路康夫	
		210	佐藤仁	砂浜域の港湾構造物における薬場の持続的な形成要因	佐藤仁 山本潤 山内弘明 今井弘 山下俊彦	
		211	酒向章哲	雨館薬場における薬場を利用した自然環境調和型防波堤に関する研究-空撮画像を利用した薬場構造物周辺における薬場形成状況の把握-	酒向章哲 横山大介 廣部俊夫 鈴木誓久 中山学之 高橋秀則 藤井良明 嶋海日出人	
		212	横山大介	雨館薬場における薬場を利用した自然環境調和型防波堤に関する研究-薬場形成要因と薬場の効果について-	横山大介 廣部俊夫 鈴木誓久 中山学之 高橋秀則 酒向章哲 秋田雄大 嶋海日出人	
16:15~16:25 第一会場 閉会挨拶 幹事長						